

第3学年 総合的な学習の時間 活動略案

令和8年5月27日 5校時 教室

3年3組 35名

1 単元名「大豆プロジェクト(仮)」

2 本時のねらい

・国語で関心をもった大豆を原料とした食べ物を実際に食べ、大豆との違いを感じ、味わう。

3 教師の願い

・大豆を原料とした食べ物を実際に味わうことで関心を深めてほしい。

・大豆の豆の味と、加工されたものの味を食べ比べ、自分たちはどのような大豆加工食品を作りたいか、挑戦する意欲を高めてほしい。

4 本時の展開(5/52)

時間	主な活動内容	○・・・留意点等 評 ・・・評価
5分	大豆からへんしんした食べ物を食べくらべよう。	
	1. 前時の振り返りをする。 C:いろいろな大豆から変身した食材を食べた。 C:おいしかったな。	
35分	2. 大豆を食べる。 C:いいにおいがする。 C:節分で食べたことある。 C:こんなに硬いんだ。 3. 絹豆腐、きなこ、無調整豆乳、みそ、しょうゆを食べしてみる。 C:豆腐だけだと味があまりしないかな。 C:豆腐は柔らかいのに、きなこは粉だからざらざらしている。食感が全然違う。 C:豆の味が少しするかな。 C:香りが似ている。 C:豆乳は牛乳とは違うんだな。 4. 食べた感想をロイロノートにまとめる。 C:豆腐は、やわらかくて、なめらかで・・・ C:きなこは小さい粉になっていて、甘い・・・	○炒った大豆であることを伝える。 ○味、硬さ、香りなどを感じながら食べられるように声を掛ける。 ○大豆やそれぞれの違い、似ているところを感じながら食べられるように声を掛ける。 ○豆腐、豆乳は前時に食べた木綿豆腐、調整豆乳と比べて味わうことができるよう、声を掛ける。 評 それぞれ食べたものについて、五感で感じながらまとめようとしている。
5分	5. 学習の振り返り	